



No 38

大正っ子

帯広市立大正小学校

Obihiro Taisyō
Elementary School

HP:<http://www.taisyō.obihirō.ed.jp>

平成28年9月2日

先日来の雨空。例年がない台風の上陸、さらには台風10号の北上と、子どもたちを取り巻く環境は刻々と変化していきます。この変化にあって、子どもたちの安全を第一に考えなければと思いを強くしたところです。さて、今号では、昨日実施しました全校参観日の様子や子どもたちの頑張りを中心にお伝えしていきます。

全校参観日 ありがとうございました

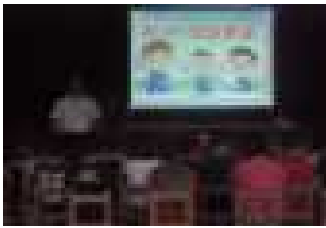
8月26日(金)に今年度3回目となる全校参観日を実施しました。多くの保護者・地域の皆様にご来校いただきました。本当にありがとうございました。さて、2学期が始まり1週間が過ぎました。学校生活を元気に送る子ども達の様子や意欲的に学習活動に取り組む姿を観ていただきました。

1年生では、音楽「ドレミのうた」(体全体を使って音の世界を表現する)、2年生は図工。夏休みの思い出を粘土で表現し、作品の発表会を行いました。3年生は、道徳。「自分を見つめ直す～やろうと思ったことは最後まで～」を題材に、考えを深めていました。



写真左は、2年生の図工の一コマ。夏休みの思い出を粘土に託しました。写真中央は、1年生の音楽。ドレミの歌を元気に歌い、体全体で表現していました。3年生(写真右)は、道徳「ものごとを最後までやり通す」ことの大切さを考えました。

高学年では、合同で『ネットについて考えよう』と題して授業を展開しました(5時間目は学活でネット安全教室を、6時間目はネット安全教室を受けて、道徳で『おもしろい』を主題とする授業構成としました)。

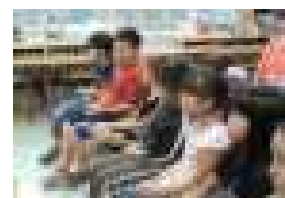
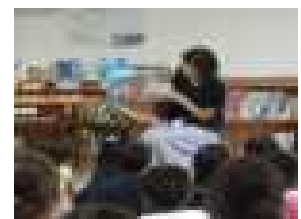
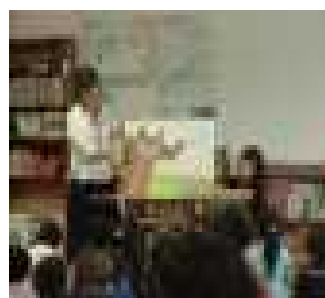


写真左2枚はネット安全教室の様子を、写真右2枚はネットトラブルについてグループごとに話し合い、交流する様子を収めたものです。

10月20日(木)には教育実践発表会を開催し、平成25年度から4カ年計画で取り組んでいる国語科の授業を公開していきます。時期が近づきましたら、あらためてご案内いたします。どうぞよろしくお願いいたします。

お話し会 ～ 楽しい絵本の世界が広がりました ～

全校参観日に先立ち昼休みに話し会が開かれました。会場の図書室には多くの子ども達が顔を揃え、あふれんばかりの熱気が感じられました。読み聞かせが始まるや、静まりかえった彼らの視線の先には、2つの絵本がやさしく語りかけてくれました。素敵な時間を過ごすことができました。楽しいひと時を演出して下さった図書ボランティアの佐藤さん、久保さん ありがとうございました。



がんばる大正っ子 ～その輝きよせて～

3年 F・K さん



第40回大正メークインまつりのポスターにF・Kさん(3年)の作品が最優秀賞に選ばれました。メークインを中心に野菜たちがトランポリンを楽しんでいる様子をイメージしていて、大地の恵みや豊かさを描いてくれました。本校では、本取組に全校を挙げて取り組んでいます。F・Kさんの他にも多数の作品が優秀作品に選ばれています。

入賞者(優秀賞)は以下の皆さんです。

K・Mさん(1年)	Y・Rさん(2年)
K・Kさん(2年)	Y・Rさん(4年)
S・Yさん(4年)	T・Sさん(5年)
Y・Mさん(5年)	M・Mさん(5年)
Y・Rさん(6年)	

お知らせです

明日、明後日(3日と4日)で、プール開放は終了となります。
 明日(3日)は、土曜図書館開放です。お話し会とミニ工作では、まっぼっくりを使ったフクロウづくりに挑戦します。
 明日(3日)は、土曜あそびの森(体育館開放)です。体育館で楽しいひとときを過ごしませんか。

バレーボール少年団 3位入賞！！

7月30日に行われた第30回稲田プリンスカップで3位に入賞しました。チームキャプ T・Kさんを中心に日頃の練習の成果を存分に発揮することができたようです。今後もチーム一丸となって、練習を重ね、大正っ子らしさを存分に発揮してくれることを期待しています。今後の活躍も楽しみですね。



全国小学生陸上大会 男子400Mリレー 見事優勝！！



8月19日・20日の両日、神奈川県日産スタジアムで開催された第32回全国小学生陸上大会に十勝陸上クラブの一員として6年生 S・Hさんが出場しました。S・Hさんは男子400Mリレーのスターターとして絶妙のスタートダッシュを決め、第2走者にバトンを渡しました。北海道小学生記録の樹立や優勝の原動力として大活躍を見せてくれました。

今後まだまだ大会は続くとのこと、「スケートとの両立を目指します。」と力強く語ってくれました。今後も活躍が楽しみです。

防災の日(9月1日)に思う ～台風10号の爪痕から考えたこと～

台風10号の爪痕は深い。ここ帯広十勝も甚大な被害に見舞われた。ここ大正地区でも札内川の水位が上昇し、避難を余儀なくされた方も多くおられました。あらためて、自然の猛威を思い知らされた今年の8月となりました。

「先生、見てきたらいいわ、ビックリするよ」、中島地区に足を運んだ際にかげられた言葉。スクールバスの迂回路を確認するため車を走らせた。視界が開け、戸蔭別川と札内川の合流地点に目をやると、予想だにしない光景が飛び込んできた。緑豊かなこの地が、ただただ茶色い世界と化していた。茶色い濁流がすべてを呑み込み、人々の心と生活を一変させた。堤防が決壊、家屋の床上浸水や畑地の埋没、農作物への損害等々甚大な被害をもたらした。その後も何度となく足を運ぶ。その度に目にしたことがある。この逆境を跳ね返し、この逆境に負けないぞという人々の思い。地域の方々が集まり、声をかけあい、力を合わせ、前へ前へと進んでいく姿。このつながりが、地域の力の源であるということを感じた。

台風10号の爪痕は深い。これほど自然の猛威を身近に感じたことはなく、これほどまでに逆境を前にして人と人とのつながりの大きさを間近に感じたことはない。台風の爪痕から様々なことを学んだ。